6ページ

小　中学生の国内留学プログラム

テンプル大学ジャパンキャンパス（世田谷区太子堂1-14-29）の協力を得て、同大学の国内留学プログラムに区立小　中学校の児童　生徒が参加しました。

この事業は3日間（小学生は半日ずつ）を通して、さまざまなテーマについて英語を共通言語として学ぶプログラムです。クラスは15名前後の少人数で編成され、講師の他にテンプル大学の学生がティーチングアシスタントとして児童　生徒の学びをサポートしました。日本にいながら海外の大学の授業スタイルを体験し、気さくな講師や学生の後押しを受け、生きた英語を通して多様なものの見方や考え方があることを学びました。

小学生の参加者の声

私はもともと英語が好きだったけど、算数や音楽などの教科を英語で教えてもらって、もっと興味を持ちました。テンプル大学の学生さんや先生のおかげです。

大学生が、授業中だけじゃなく、休み時間にも一緒に英語のゲームをしてくれたのが楽しかったです。英語がわからなかった時でも、やさしく教えてくれたのが嬉しかったです。

普段通っている英語教室では、文字を書く時間が多いけれど、今回は英語を聞いてコミュニケーションをいっぱいとれたのが楽しかったです。すべて英語だったので、アメリカに留学したらこんな感じなのかな、とイメージできました。

中学生の参加者の声

発言しやすい雰囲気で、わからない単語も聞きやすく、ていねいに教えてもらえました。来年も参加して、自分の理想に一歩でも近づいていきたいと思いました。

このプログラムを通して英語に対する意識が変わりました。

もっと英語を話せるようになれるよう頑張ろうと思いました。

3日間でたくさんの科目を英語で学べてよかったです。日本語では知っていたことを、英語で学べたのはおもしろかったです。

問い合わせ先　教育指導課　電話5432-2706　ファックス5432-3041

世田谷区の　キャリア　未来デザイン教育　の第一歩（世田谷区立尾山台中学校）

尾山台中学校では、中学校2年生を対象に、14歳のパワーアッププログラム　キャリアデザインの一歩　というテーマのもと、働く　とは、自分にとって、どのような意味なのかについての学習を深めています。生徒たちが、これからの社会をどう生きていけばよいのか主体的に考える力をはぐくむことができました。

14歳のファーストプロジェクト

おやまちプロジェクトの方々と一緒に街の本屋さんのイベントを企画しました。

ライフサイクルゲーム

人生のさまざまなリスクと必要な備えについて、ライフプランナーと一緒にボードゲームをしながら学びました。

問い合わせ先　教育研究　研修課　電話5432-2711　ファックス5432-3041

7ページ

学校給食は、児童　生徒の心身の成長を支えるとともに、一人ひとりが将来にわたって、健康に過ごすことができるよう、教育活動の一環として実施しています。旬の食材を使い、ルウやドレッシングなども全て手作りしています。コロナ禍においても、せたがやそだち給食　や　リクエスト給食、季節ごとの行事食を取り入れるなど各校で工夫し、食べることの楽しさ、大切さを感じ、思い出に残る給食となるよう願いを込めて作っています。

せたがやそだち給食（世田谷産農産物を使った給食）

世田谷の伝統野菜　大蔵大根　について学ぶ授業や実物展示

実際に見て触る体験をします。

冬野菜のポトフ　に大蔵大根を使った給食

食べて味わう体験をします。

リクエスト給食

児童　生徒からメニューの希望をとり、給食に取り入れています。

問い合わせ先　学校健康推進課　電話5432-2701　ファックス5432-3029

10月23日教育推進会議　総合教育会議

当日のオンライン会議の様子を、区の公式ユーチューブにて配信しています。以下、区のホームページ内より閲覧できます。

教育推進会議

より質の高い乳幼児教育　保育の実践に向けて

テーマをもとに、白梅学園大学名誉教授の無藤隆氏にご講演いただきました。そのうえで、高知学園短期大学副学長の山下文一氏にコーディネーターをお務めいただき、世田谷区の教育　保育の質の一層の向上に向けて、保育者が教育　保育で大切にしていることや、保護者から見た幼稚園　保育所等と家庭教育の連携についてパネルディスカッションを行いました。

総合教育会議

子どもたちの自己肯定感を育てる

筑波大学教授の藤田晃之氏にご講演いただいたうえで、子どもたちの自己肯定感を育てるためには何が必要か、課題を共有し、今後の教育政策の方向性について区長、教育長、教育委員による意見交換を行いました。

問い合わせ先　教育総務課　電話5432-2745　ファックス5432-3028

編集後記

教育総合センターでは、子どもに関わる専門人材での支援チームを組織して、これまで以上に充実した相談体制を構築します。また、アトリエやアート体験、外遊びなど、さまざまな体験の場もご提供できるよう準備を進めております。ぜひご利用ください。

多言語対応の電子書籍（デジタルブック）で配信をしています。

電子書籍（デジタルブック）カタログポケット内で、日本語から９カ国語への自動翻訳　音声読み上げ機能により、せたがやの教育　を多言語で読む　聞くことができます。

二次元コードよりアプリをインストールするか、ブラウザ版でご覧ください。

次号114号は令和４年３月に発行予定です。お楽しみに